

測量計算 (TS・GPS)

# A-SurveyPC

Windows

エース プロジェクト

2025/06

Ver2.68.5 で追加された機能を説明します。

- ・「TIN 作成・編集」オプションを追加

## 1、「TIN 作成・編集」オプションを追加

要望がありましたので、追加しました。

TIN 作成 : 現場内の全座標から、TIN を作成します。

TIN 点除外 : 不要な座標点を除外できます。

TIN 削除 : 作成した三角形を、削除できます。

TIN 切替 : 隣接の三角形を、切り替えます。

TIN 計画高 の表示

LandXML の読み込み

TIN の一覧からの切り替え

その他に、下記の機能があります。

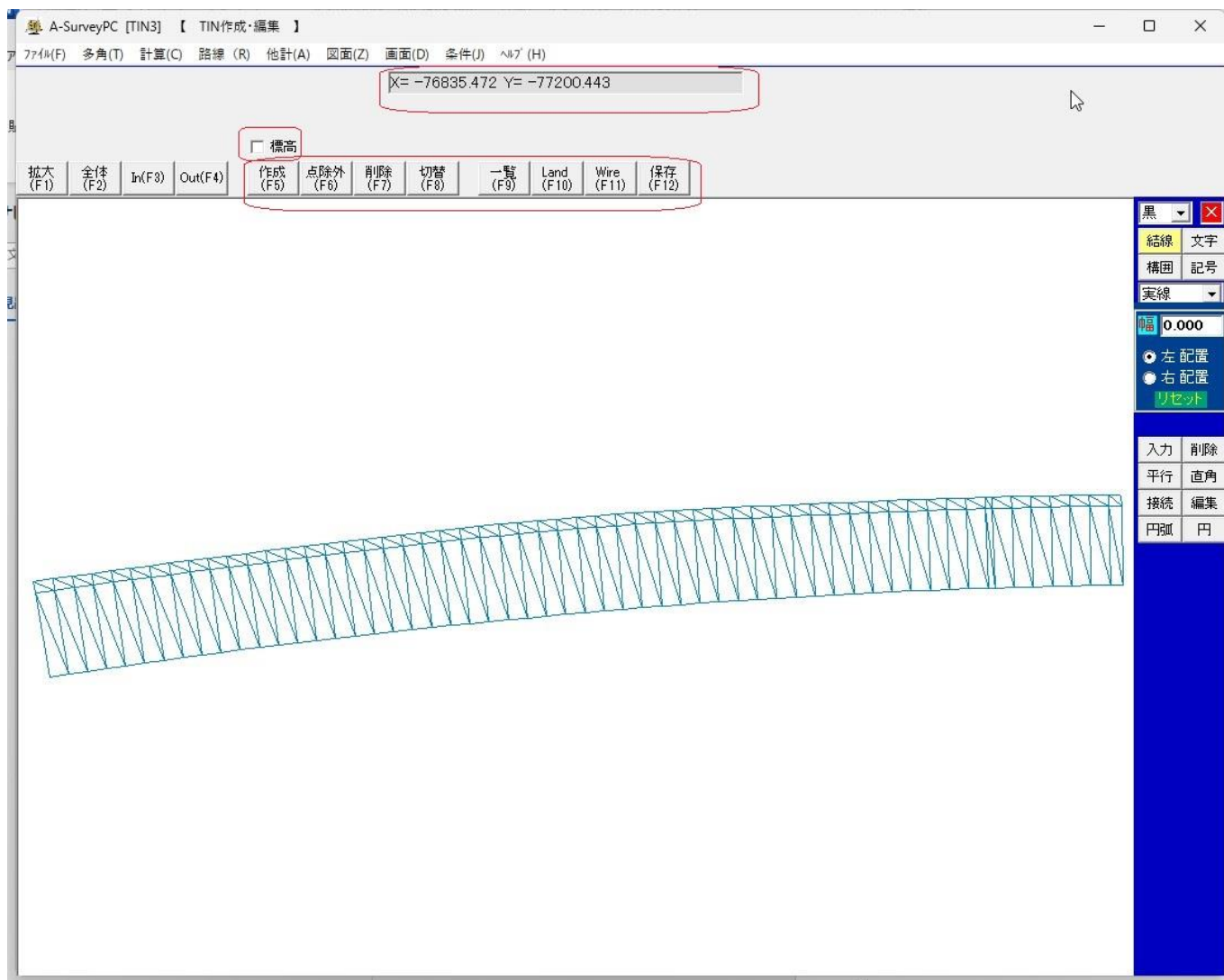
ワイヤーフレーム表示

LandXML ファイルに保存



←——— 追加されています。  
ここでのみ、TIN は表示されます。

下記の赤丸が、機能です。

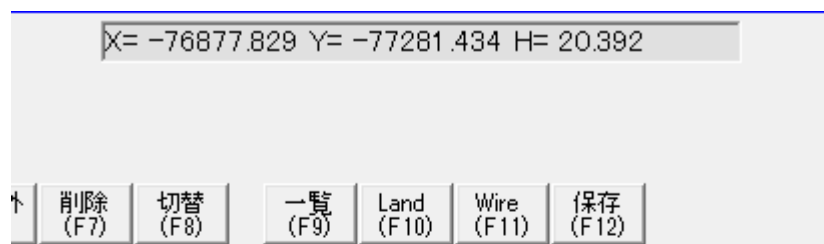
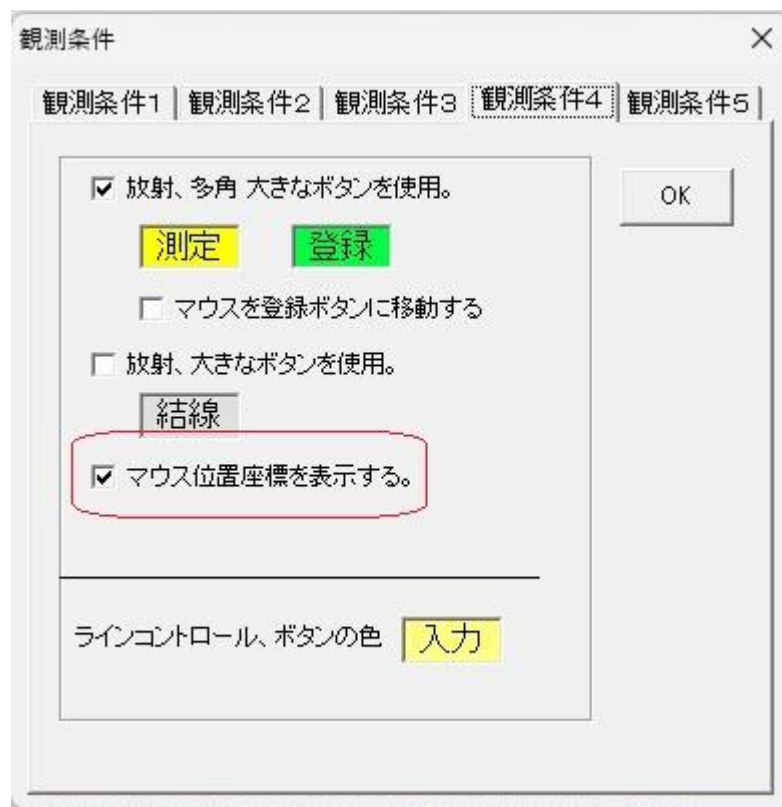


これらは、Android版にある機能と同じです。

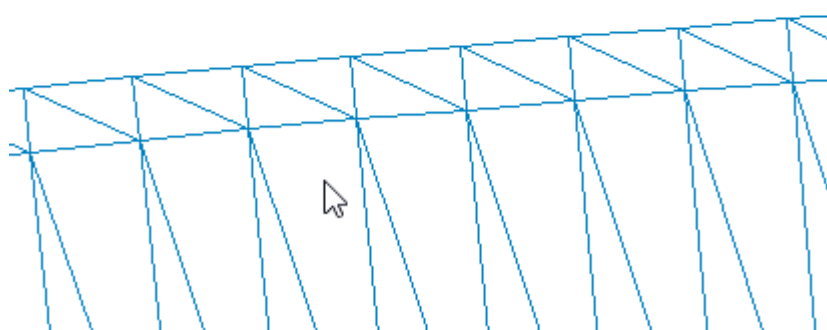
データの互換もありますので、現場フォルダ毎にコピーするだけで使用できます。

Android 版と、違う箇所を説明します。

条件で、下記にチェックすると画面の上側にマウスの位置座標が表示されます。  
マウスが TIN の内部にあると、三角形を探し、その 3 点の標高から計画高をリアルタイムに表示します。



← H がマウス位置の  
計画高です。



**TIN 削除** : 作成した三角形を、削除できます。

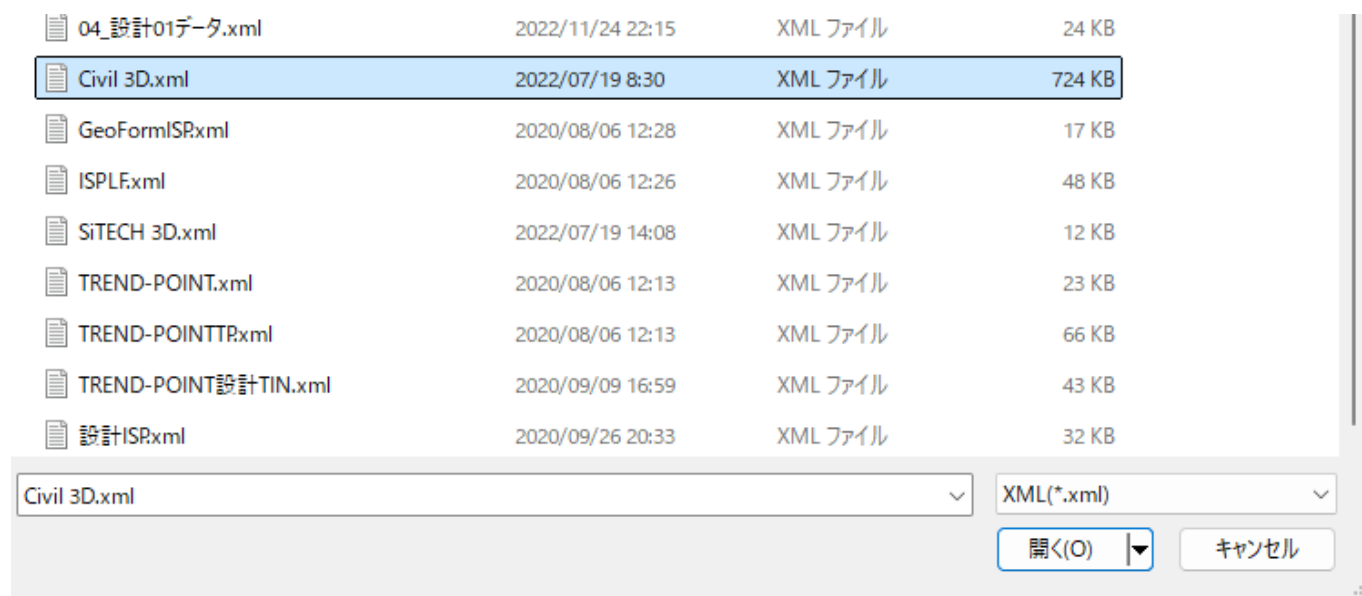
**TIN 切替** : 隣接の三角形を、切り替えます。

ができるのは、現場の座標を使用して **TIN** を作成したデータのみです。

変更した場合は、「保存(F12)」を実行してください。

Land(F10) で、LandXML ファイルを読み込みます。

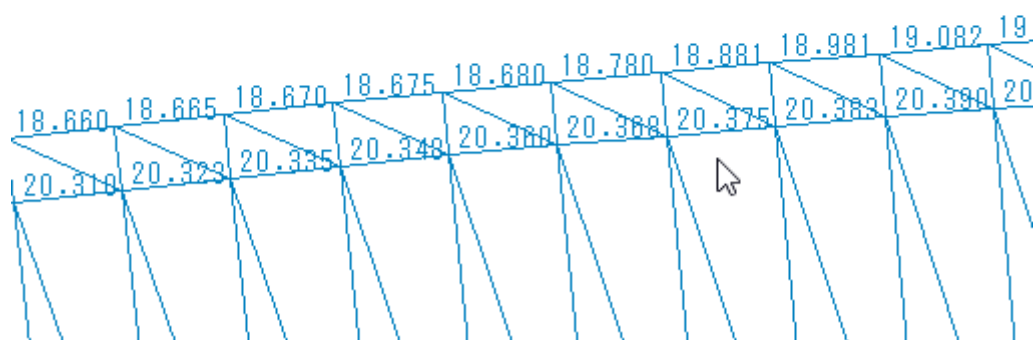
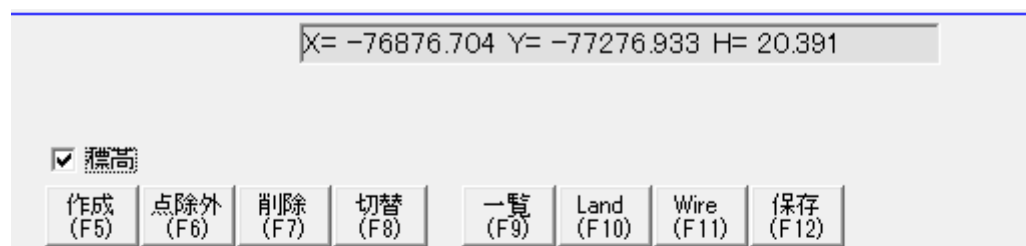
このデータは、表示ができる事と、計画高をマウス位置に表示出来る事  
点の標高を表示できる事だけです。



#### □標高

にチェックを付けると TIN の単点の標高値を表示します。


LandXML ファイルを読み込んだデータでの表示です。



一覧から切り替えて表示できます。

現場の座標から作成した TIN は現場名です。

LandXML を読み込んだものは、そのファイル名が表示されます。

左の、 を付けると選択になります。

「削除」は、リストから削除されます。

元データは削除されません。



	選択	名 称
1	<input type="checkbox"/>	土量計算2
2	<input type="checkbox"/>	設計11
3	<input checked="" type="checkbox"/>	Civil 3D
4	<input type="checkbox"/>	ISPLF
5	<input type="checkbox"/>	白川農地1

OK

削除

TIN の色は、下記で設定できます。

色の設定

背景、座標点、画地

杭打ち(TS)

丁張設置

その他

線形

背景の色 :

SIMA :

TS :

GPS :

交点 :

メモ :

主要点 :

グリッド :

TIN :

中心点 :

左幅杭 :

右幅杭 :

杭打済点 :

画地線(開) :

画地線(閉) :

地番名 :

表示を確認。(〇)

OK

